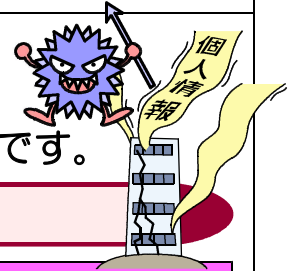




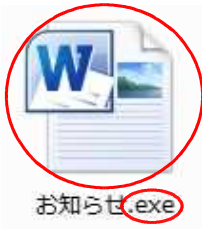
メールの添付ファイルを開くと、、、

ウイルス感染の多くはメールの添付ファイルが原因です。



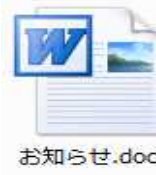
添付ファイルの例

アイコンと拡張子が不一致



ワードの拡張子は doc.、docx
「.exe」はエグゼファイル、実行ファイルと呼ばれるもの

拡張子を隠す



ファイル名を長くしたり空白を含むことで拡張子を確認しづらくする

→exe ←「.exe」が隠れている！

見慣れないアイコン



通常、メールで送受信されることの無いファイル
「.js」のジャバスクリプトファイルなど

圧縮ファイル



「.zip」ファイルなど複数のファイルをまとめて容量を小さくするファイル

拡張子を表示させ、ファイルを確認しよう！！

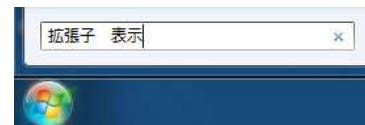
※ファイルの拡張子が表示されるよう設定しておく必要があります。

【設定方法】

Windowsの検索ボックスに「拡張子 表示」と入力。

「フォルダーオプション」→「表示」→「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外す。

※OSやバージョンによって異なる場合があります。



被害に遭わないために！！

- ウイルス対策ソフトを必ず導入し、最新のウイルス定義ファイルに更新
- OSやソフトウェア(アプリ)は常に最新の状態に
- メールソフトの迷惑メールフィルターを活用
- 心当たりのないメールは開封せず、削除
- メールを送信元が知り合いや実在の組織であっても安易に開かず、電話するなどして内容を確認
- 添付ファイルは必ず開封前にウイルスチェック
- 送信時もメール本文でまかなえる情報はできるだけ添付ファイルにしない

※ 一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター(JC3)のウェブサイトにおいて、ウイルス付メールの注意喚起情報を紹介しています。